

## わが心のチエーホフ

佐藤清郎著

〈チエーホフという作家は、自分から、他人から、社会から、少し離れて、小槌を持って立っていた作家なのです。優しく、しかもクールな、どこか悲しい目で人々を、世間を見つめていた人で、チエーホフは、まさに「最も平凡な日常生活」を描いて、人間の、この世の真実に迫った作家です。本書は、チエーホフ研究の第一人者が、名著『チエーホフの生涯』(66年)から約半世紀、94歳であらためてチエーホフ論に挑む。ここでは『三人姉妹』や『桜の園』というチエーホフの代表作を解説、笑いと哀の混在、ちぐはぐなセリフ、孤独な登場人物など、時代を越えたチエーホフの魅力を存分に。



B6判 / 217頁 / 2400円  
以文社